

# 公共政策プログラムまちづくり政策コース

## コースの目的

まちづくり政策コースは、まちづくりに係る政策課題に対する解決策を、データや調査結果等の幅広いエビデンスを用いて立案する能力を持つ人材を養成することを目的としています。

## ディプロマ・ポリシー

まちづくり政策コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次のとおりです：

- ① まちづくりに係る政策に関し必要な専門的知識を持ち、課題を分析して問題点を抽出できる能力
- ② 公共政策に関する幅広い知識を持ち、学術的な知見に基づいて、データや現地調査結果等の様々なエビデンスを用いた分析・評価を行い、多角的に問題点を分析できる能力
- ③ 分析した政策課題について、その結果に基づいた政策立案(EBPM)ができる能力
- ④ 政策立案の成果を、政策提言として発信できる能力

## カリキュラム・ポリシー

### 【必修科目】

まちづくり政策コースにおける「政策論文演習」では、まちづくりに係る政策課題に関する研究成果のまとめに向けて、関連する専門分野の知識をより深く修得するとともに、適切なエビデンスを用いた分析・評価を行い、その結果に基づいた政策立案、政策提言ができる能力を養成します。

### 【選択必修科目】

選択必修科目では、公共政策に係る幅広い知識と、学術的な知見に基づいて多角的に政策分析ができる能力を修得します。

### 【コース指定科目】

コース指定科目としては、「マイクロ経済学Ⅱ」、「計量経済学の応用と実践」、「費用便益分析の応用と実践」、「都市政策の法律基礎」、「まちづくり政策事例特論」を指定しています。選択必修科目である、「マイクロ経済学Ⅰ」、「計量経済学」、「費用便益分析」等の科目を併せて履修することを想定しており、これにより、EBPMの実践に必要な知識を体系的に修得します。また、「都市政策の法律基礎」では、まちづくりに係る課題解決に必要な関連法律

の知識を学びます。さらに、「まちづくり政策事例特論」では、まちづくりの現場における課題解決の実例について学び、政策課題に即した解決策を考察する力を養います。「費用便益分析の応用と実践」、「まちづくり政策事例特論」においては、講義に加えて、ディスカッションや特定のテーマに関する分析・評価結果の発表も行い、政策立案能力、立案した政策を発信できる能力を養成します。

#### 【研究指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

## アドミッション・ポリシー

### 求める学生像

国・地方自治体職員、独立行政法人職員や、公共部門と連携する企業の職員、コンサルタント、不動産鑑定士や建築士といった専門家、非営利組織職員等で、都市政策、住宅・建築政策のほか、環境、教育、労働、福祉といった広くまちづくりに係る政策課題について、EBPMの実践に意欲を有する方を受け入れます。

### 審査方法及び審査基準

#### 【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

#### 【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

本人の職務経験、推薦者の評価内容、政策課題についての理解や目的意識、学習意欲などを総合的に判断して決定します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラムまちづくり政策コース

区分	科目番号	科目名	ディプロマポリシー① ① まちづくりに係る政策に関し必要な専門的知識を持ち、課題を分析して問題点を抽出できる能力	ディプロマポリシー② ② 公共政策に関する幅広い知識を持ち、学術的な知見に基づいて、データや現地調査結果等の様々なエビデンスを用いた分析・評価を行い、多角的に問題点を分析できる能力	ディプロマポリシー③ ③ 分析した政策課題について、その結果に基づいた政策立案(EBPM)ができる能力	ディプロマポリシー④ ④ 政策立案の成果を、政策提言として発信できる能力	
区分I 必修科目	PPP4000J	政策論文演習	○	○	○	○	
区分II 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学 I		○	○		
	ECO1050J	マクロ経済学		○	○		
	ECO2700J	計量経済学		○	○		
	ECO2710J	費用便益分析		○	○		
	GOV2100J	政策過程論		○	○		
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価		○	○		
	GEN5020E	The World and the SDGs		○	○		
	GEN5030J	GRIPS Forum I		○	○		
	GEN5040J	GRIPS Forum II		○	○		
	IPR1020J	民法の基礎		○	○		
	MOR1030J	データサイエンス基礎		○	○		
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I		○	○		
	MOR2000J	計画と評価の数理		○	○		
	MOR2020J	実践データサイエンス		○	○		
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II		○	○		
	PAD3100J	EBPM概論		○	○		
	REG1200J	行政法の基礎		○	○		
(コース 指定科目)	ECO2000J	ミクロ経済学 II		○	○		
	ECO3700J	計量経済学の応用と実践		○	○		
	ECO3760J	費用便益分析の応用と実践		○	○	○	
	PAD1100J	都市政策の法律基礎	○	○	○		
	PAD3120J	まちづくり政策事例特論	○	○	○		
	DEV2140J	景観・デザイン論	○	○	○		
	DEV2150J	都市学の理論と実践	○	○	○		
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	○	○	○		
	DEV2180J	水圏国土学		○	○		
	DRM2050J	気象と災害		○	○		
	DRM3010J	災害対策各論 II		○	○		
	ECO2020J	政府と市場		○	○		
	ECO2600J	経済政策の理論と展開		○	○		
	ECO2900J	ゲーム理論		○	○		
	ECO3100J	日本経済の現状と課題		○	○		
	ECO3330J	都市政策の空間分析	○	○	○		
	ECO3440J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で		○	○		
	ECO3620J	構造変化の下での財政金融政策		○	○		
	ECO3750J	経済シミュレーション分析		○	○		
	GOV2110J	日本政治と理論分析		○	○		
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応		○	○		
	GOV6100J	政策過程論特別演習		○	○		
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済		○	○		
	PAD3110J	都市政策演習	○	○	○	○	
	MOR3010J	数理モデル分析演習		○	○		
	REG2310J	地方自治と行政学		○	○		
		上記以外の授業科目		○	○		
	区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				